

○「京力農場プランを協議」

(京都府宮津市 金山地域活動 第4回目)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年3月21日(木) 13:00~16:00
- 場 所: 宮津市金山集会所
- 出席者: 関野委員、細見推進委員
地域づくり協議会 27人、市 1人
※委員2人、委員以外28人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 中山間・多面的事業を実施。農地は一定、集積されているが、高齢化で高い畦の草刈りが困難に
- 小作料が高い。地域における土地利用は、原則、皆で決めることになっているが、実態は相対で押しつけ
- 耕作者は今以上に耕作地を増やすことができない。不作付け地がでると保全管理せざるを得ない



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランの検討。柱となったのは、
 - ・新規就農促進は、受入体制を検討
 - ・営農組織設立
 - ・農地集約化による農作業の効率化と低コスト化
 - ・6次産業化
 - ・後継者育成
- 意見交換
 - ・有害鳥獣対策(集落全体を囲む、など様々な意見)
 - ・農地集積を積極的に行い耕作放棄地をなくす
 - ・農業経営の法人化
- 今後、各集落から2~3人の検討委員が選考され(区長・農家組合長等)、区行政が主体となる

4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援